

# 株式会社有明ねっこむ

## 第 19 回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 令和元年 7 月 31 日（水） 午後 4 時～
2. 開催場所 株式会社有明ねっこむ
3. 委員の出席  
委員総数 : 6 名  
出席委員数 : 6 名  
出席委員 : 石丸 智士委員長、香山 真理子副委員長  
高木 洋一委員、大石 教義委員、古賀 武委員、城戸 久信委員  
放送事業者側出席者：  
代表取締役専務 納富 和由紀  
FMたんと局長 永江 美穂  
FMたんと 荒木 はるか  
FMたんと 根間 裕花里
4. 議 題 : (1) 番組の内容について  
①7/27(土)放送  
「特別番組第 58 回おおむた大蛇山まつり  
生中継スペシャル」  
②7/22(月)の大雨に伴う緊急放送  
  
(2) その他意見交換
5. 審議内容 : 議事に先立ち、放送に関する報告として、前回の放送番組審議会から本日まで、訂正・取り消しの放送、また、放送内容に対する苦情・意見が無かった事を報告し、その後議題に沿って審議を進めた。

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

(1) 番組の内容について

以下 2 つの放送についてあらかじめ放送事業者から説明後、音源を聴き、審議を行った。

【番組に関する意見、質問】

① 7/27(土)放送

「特別番組 第 58 回おおむた大蛇山まつり 生中継スペシャル」

(委員) 不思議なくらい、ノイズが入らないんですね。音がすごく綺麗でしたね。

(事業者) 去年までは携帯電話でつながっていませんでした。今回からは中継器で繋ぎ現場からという臨場感はあったのですが、あまりにも周りの音よりも喋りを綺麗にとりすぎていたので、途中からは大蛇山の方にマイク向けて音を取っていました。また、表彰式のときはスピーカにマイクを向けてそちらより音を取っていました。

(委員) 一般的に祭なんかの時は逆にノイズがありすぎて、しゃべっている内容がわからなかったりというのがあるけれどまったくそういうのはなかった。

(事業者) 逆に静かな風に聞こえてしまうので、時々音だけを取ったりするような工夫はしておりました。マイクがそのような特性のマイクを使っているので使用するマイクを変えたりしたらもう少し周りの音を拾うかと思います。

② 7/22(月)の大雨に伴う緊急放送

(事業者) 開局当時より、大牟田市、みやま市、荒尾市と防災協定を結んでおります。その協定に基づき、防災対策本部の指示で放送を行うこととなっております。まず、防災対策本部と電話等でやり取りを行い、その後 FAX にて情報が入り随時その情報を放送にて読んでいく流

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

れとなっております。生放送中に FAX にて情報が届いた場合は、随時番組の途中に割り込んで放送しています。それ以外につきましては防災対策本部が立ち上がっている間は 24 時間体制で 1 時間に 1 度の緊急割込み放送を行っております。

今回は、防災対策本部に来て待機していて良いとのことでしたのでスタッフが防災対策本部にて待機することになりました。防災対策本部で得た情報を局に渡し、スタジオから放送する予定でしたが、防災対策本部から直接放送した方が速いということになり、スタッフが電話にて防災対策本部より生中継でお届けしました。

(委員) 番組から防災放送に入るまでの間に少しぎこちなさを感じました。

(事業者) 今回の防災情報の読み上げはパーソナリティではなくスタッフが  
行っております。原稿が用意されていなかったこともあり、喋りが  
ぎこちなかったかと思います。現在、緊急放送の仕方や防災対策室  
より講習を受けるなどとして社員研修を行っているところです。

## 6. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページに掲載 (令和元年 8 月 22 日掲載)

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------